

# 景 気 動 向 調 査

( 第 149 回 )

2008 年 1 月 ~ 3 月 期 実 績

2008 年 4 月 ~ 6 月 期 予 測

株 式 会 社 北 日 本 銀 行

経 営 企 画 部

## 目 次

調査要領	.....	1
概 況	.....	2
1．県内景況感について	.....	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	.....	5
(2) 生産高または仕入高	.....	6
(3) 在 庫	.....	7
(4) 収 益	.....	8
(5) 販売価格・仕入価格	.....	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	.....	10
(2) 設備投資の目的	.....	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	.....	12
(2) 現金・預金	.....	13
(3) 金融機関借入	.....	13
(4) 販売代金回収期間	.....	14
(5) 仕入代金決済期間	.....	14
5．経営上の問題点について	.....	15

## 調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

### 記

- 1．実施時期            2008年3月下旬～2008年4月上旬
- 2．調査対象期間      2008年1月～3月期実績  
                          2008年4月～6月期予測
- 3．調査の方法        郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先             岩手県内企業 400社
- 5．回答数             211通（回答率 52.75 %）  
                          <内訳> 製造業 70社 建設業 49社 卸・小売業 92社
- 6．調査の主要項目    (1) 業況について  
                          (2) 設備投資の動向について  
                          (3) 資金繰りの状況について  
                          (4) 当面する経営上の問題点について

以 上

#### 【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

## 概 況

### ～ 景況感回復は足踏み状況に ～

2008年1～3月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 75.1 と前期 72.5 より2.6ポイントほど下向きとなった。

先期調査でD Iが11期振りに 70台となった景況感は、今期更に下向き、持ち直しの動きが後退して、足踏み状態となっている。次期見通しでは景況感D Iは上向きとなっているが、原油価格、原材料価格の上昇、急速な円高、株安ほか、後退要因も多くみられることから、今後の動向を注視したい。

項目別に前回調査時(2007年10～12月期実績)と比較してみると、今回は、製造業が景況感以外の売上高、生産、収益、資金繰り等で上向いているのに対し、建設業が季節要因もあり多くの項目で下向いている。また、卸・小売業ではD Iの低水準のものが多くみられる。来期の見通しでは、各業種で項目毎にバラツキがあることから、業種間の改善の動向が注目される。

国内経済をみると、輸出は引続き増加基調で推移しており、改正建築基準法施行等の影響により落ち込んだ住宅建設も持ち直しの動きがみられる。一方、増加で推移してきた設備投資に鈍化の傾向がみられ、鉱工業生産、個人消費は横ばいの動きとなっている。高水準を維持してきた企業収益も、原材料価格の上昇等により下降に転じてきており、企業の景況感も後退してきている。また、雇用・所得環境に足踏みの状況がみられ、公共投資は国・地方の財政状況を反映して低調に推移し、企業倒産件数も増加傾向となるなど、全体的には緩やかな改善が続いてきた動きに、停滞傾向への転化がみられる。

一方、最近の岩手県内経済をみると、公共投資は低水準ながら工事請負額が前年を上回って推移しているが、鉱工業生産は一部で活発な動きがあるものの全体的には鈍化傾向がみられ、住宅建設も前年を下回って推移している。また、雇用情勢は有効求人倍率が低い水準で停滞しており、個人消費も依然として弱含みの動きとなっている。このように岩手県内景気は、全体としては緩やかな回復から足踏みの状況となっており、景況感改善の拡がりはみられない。

#### < 参考 >

#### 岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第124回	01年10～12月	91.2
2	第109回	98年1～3月	90.6
3	第111回	98年7～9月	90.0
4	第108回	97年10～12月	89.7
5	第110回	98年4～6月	89.3

(1971(昭和46)年以降)

1. 県内景況感について  
全体のD Iは、今回調査では 75.1 と前期比 2.6 ポイント下降し、3 期連続下向きとなっている。各業種別のD Iをみると、製造業は 9.7 ポイント、建設業が 1.5 ポイント下降し、卸・小売業は 1.7 ポイント上昇したが、D Iは 80 台の低い水準となっている。  
4~6 月期見通しは、製造業が 6.6 ポイント、建設業が 4.1 ポイント、卸・小売業が 12.9 ポイント上向き見通しとなっている。
2. 業況について
  - (1) 売上高または出荷高  
D Iは、全体では僅かだが上向きとなっている。製造業が 19.1 ポイント上向いているのに対し、建設業と卸・小売業が各々 6.2、8.0 ポイント下向いている。
  - (2) 生産高または仕入高  
製造業の生産高、卸・小売業の仕入高とも上向きとなっている。製造業の生産高はプラスの水準を維持している。
  - (3) 在 庫  
製造業の製品在庫、卸・小売業の商品在庫とも下向きとなっている。在庫水準では、製造業、卸・小売業とも「適性」とする比率が減少している。
  - (4) 収 益  
製造業が上向いているものの、建設業が 2.5 ポイント下向き、卸・小売業が 7.7 ポイント下向いていることから、全体でも 5 期連続で下向きとなった。4~6 月の見通しでは、建設業だけが大きく下向いている。
  - (5) 販売価格・仕入価格  
D Iは、販売価格が上向きプラスの水準を維持しており、仕入価格も上向きD I 50 台の高い水準となっている。
3. 設備投資の動向について  
全体でみると設備投資を「実施した」企業は 20.0%と下向きとなっている。業種別でも、製造業以外は下向いている。  
なお、設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」「生産・販売能力の増加」の比率が高いが、卸・小売業では「多角化」の比率が高くなっている。
4. 資金繰り状況について  
製造業が上向いているが、建設業と卸・小売業が下向いており、全体でも下向きとなっている。来期の見通しについては、卸・小売業だけ上向き予想となっている。
5. 経営上の問題点について  
上位の項目に変わりはないが、「収益不振」を抜いて「原材料・仕入価格高」が 2 位となっている。製造業では「原材料・仕入価格高」が 4 期連続トップとなっており、建設業では「過当競争」が 2 位となっている。

# 1. 県内景況感について

～ 3期連続下向く ～

【1～3月期の実績】 県内の景況感（前年同期比）についてみると、全業種では「良い」と答えた企業が1.0%（前期3.2%）、「悪い」が76.1%（同75.7%）で、DIは75.1（同72.5）と、2.6ポイント下向いている。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が66.7（同57.0）、建設業が69.5（同68.0）、卸・小売業が84.8（同86.5）と製造業と建設業で下向いている。卸・小売業は上向いたものの80台半ばで低い水準となっている。

【4～6月期の見通し】 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が3.9%、「悪くなる」が70.4%であることから、DIは66.5となり、1～3月期実績と比較すると上向く見通しとなっている。

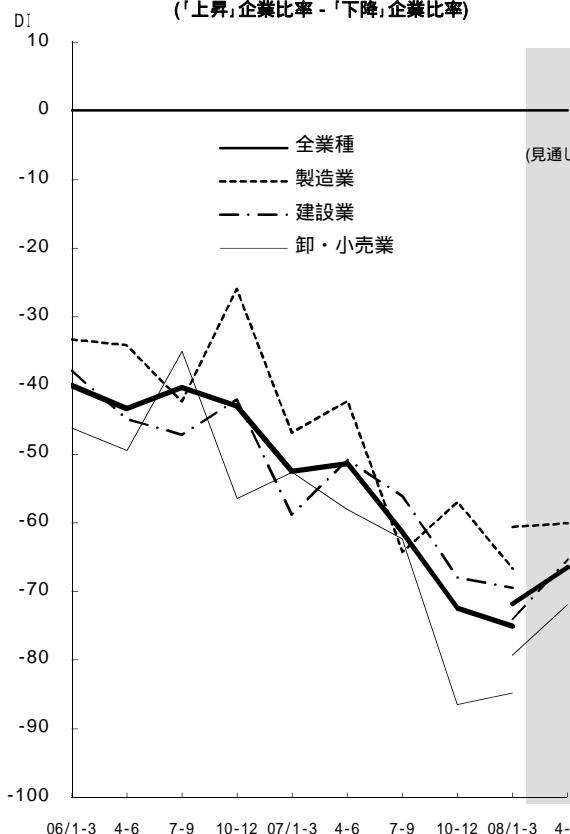
業種別にみると、製造業が60.1、建設業が65.4、卸・小売業が71.9となっており、水準は低いものの各業種とも上向く見通しの回答結果だった。

県内景況感(前年同期比)

		（％）					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	1～3月 (実績)	0.5	0.5	22.9	49.0	27.1	-75.1
	4～6月 (見通し)	0.0	3.9	25.7	45.8	24.6	-66.5
（製造業）	1～3月 (実績)	1.4	0.0	30.5	39.1	29.0	-66.7
	4～6月 (見通し)	0.0	4.6	30.7	38.5	26.2	-60.1
（建設業）	1～3月 (実績)	0.0	2.0	26.5	42.9	28.6	-69.5
	4～6月 (見通し)	0.0	2.0	30.6	38.8	28.6	-65.4
（卸・小売業）	1～3月 (実績)	0.0	0.0	15.2	59.8	25.0	-84.8
	4～6月 (見通し)	0.0	4.5	19.1	55.1	21.3	-71.9

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

～ 僅かだが2期連続上向く ～

**[1～3月期の実績]** 売上・出荷実績(前年同期比)をみると、**全業種**では「増加」と答えた企業が29.9%(前期29.4%)、「減少」が46.4%(同47.5%)となり、DIは△16.5(同△18.1)と1.6ポイント上昇し2期連続で上向きとなっている。

業種別にDIをみると、**製造業**4.3(前期△14.8)、**建設業**△12.2(同△6.0)、**卸・小売業**△34.8(同△26.8)となっており、製造業が上向きプラスの水準となったのに対し、建設業と卸・小売業が下向いている。

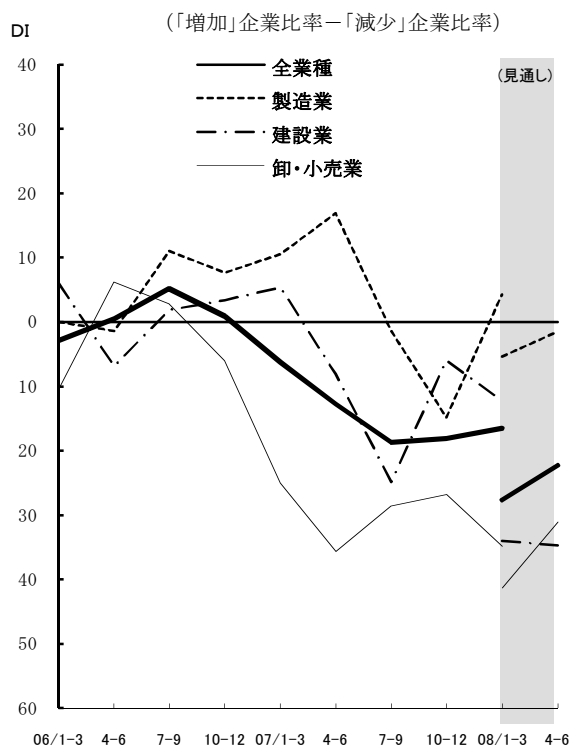
**[4～6月期の見通し]** 4～6月期見通し(前年同期比)をみると、**全業種**では「増加」とみる企業が24.1%、「減少」が46.4%であることからDIは△22.3で、1～3月期実績と比較して5.8ポイント下向く見通しとなっている。

業種別にDIをみると、**製造業**で△1.5、**建設業**で△34.7、**卸・小売業**で△31.1となっており、1～3月期実績と比較して卸・小売業だけ上向く見通しで、製造業と建設業では各々5.8、22.5ポイント下向く見通しとなっている。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1～3月(実績)	9.0	20.9	23.7	28.9	17.5	-16.5
	4～6月(見通し)	5.3	18.8	29.5	32.9	13.5	-22.3
(製造業)	1～3月(実績)	15.7	25.7	21.5	21.4	15.7	4.3
	4～6月(見通し)	10.3	23.5	30.9	26.5	8.8	-1.5
(建設業)	1～3月(実績)	8.2	20.4	30.6	16.3	24.5	-12.2
	4～6月(見通し)	4.1	18.4	20.3	24.5	32.7	-34.7
(卸・小売業)	1～3月(実績)	4.3	17.4	21.8	41.3	15.2	-34.8
	4～6月(見通し)	2.2	15.6	33.3	42.2	6.7	-31.1

売上・出荷動向(前年同期比)



## (2) 生産高または仕入高

### ～ 製造業の生産高、卸・小売業の仕入高とも上向く ～

**[1～3月期の実績]** 生産高・仕入高実績（前年同期比）をみると、**製造業**（生産高）では「増加」と答えた企業が39.1%（前期37.0%）、「減少」が34.7%（同35.6%）で、DIは4.4（同1.4）と3ポイント上向いている。

**卸・小売業**（仕入高）では、「増加」と答えた企業は29.2%（前期29.5%）、「減少」が43.8%（同47.4%）で、DIは△14.6（同△17.9）と3.3ポイント上向いている。

**[4～6月期の見通し]** 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、**製造業**（生産高）については、「増加」と答えた企業が33.8%、「減少」が30.9%であることから、DIは2.9で、1～3月期実績と比較して1.5ポイント下向く見通しとなっている。

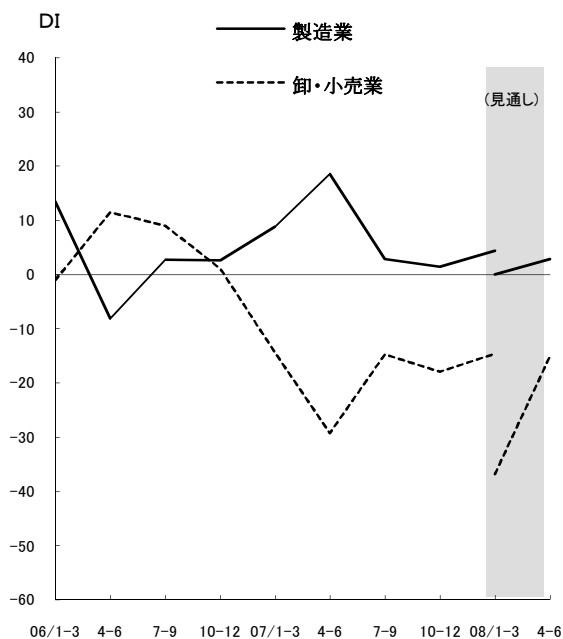
**卸・小売業**（仕入高）については、「増加」と答えた企業が25.6%、「減少」が40.7%であることから、DIは△15.1となり、1～3月期実績と比較して0.5ポイント下向く見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
(製造業)	1～3月 (実績)	11.6	27.5	26.2	24.6	10.1	4.4
	4～6月 (見通し)	10.3	23.5	35.3	22.1	8.8	2.9
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	10.1	19.1	27.0	32.6	11.2	-14.6
	4～6月 (見通し)	2.3	23.3	33.7	37.2	3.5	-15.1

生産・仕入動向(前年同期比)

(「増加」企業比率-「減少」企業比率)





(3) 在庫

～ 製造業の製品在庫、卸・小売業の商品在庫とも下向き ～

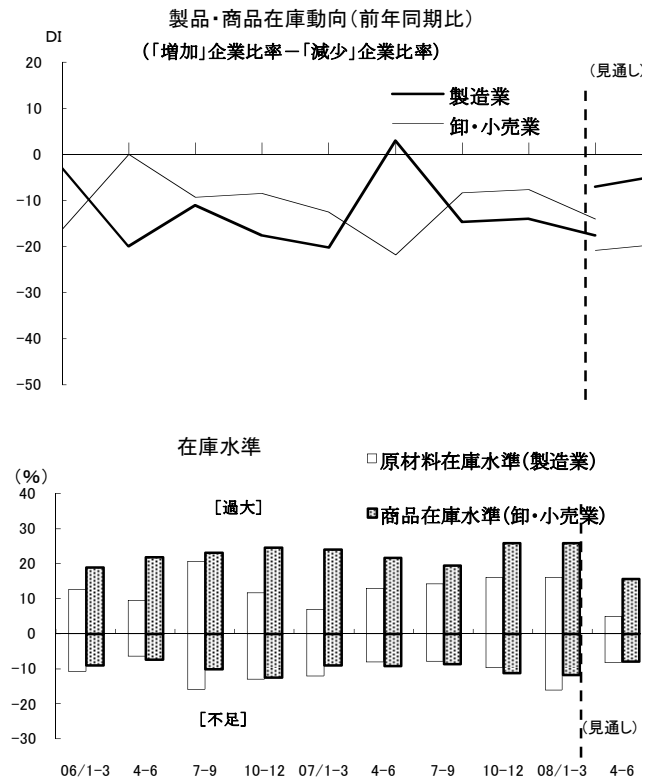
【1～3月期の実績】 状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製  
 が「増加」と答えた企業は17.7%（前期15.5%）、「減少」が35.3%（同29.6%）であること  
 から、DIは△17.6（同△14.1）となった。また、水準については、「」が  
 16.1%（同16.1%）、「」が67.8%（同74.2%）、「」が16.1%（同9.7%）である。  
 卸・小売業の  は、「増加」と答えた企業が17.6%（前期18.7%）、「減少」31.7%  
 （同26.4%）であることから、DIは△14.1（同△7.7）となった。また、 の水準に  
 ついては、「」が26.0%（同25.9%）、「」が62.3%（同63.0%）、「」が  
 11.7%（同11.1%）である。

【4～6月期の見通し】 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製  
 は、「増加」とみる企業が13.6%、「減少」が18.1%で、DIは△4.5となっている。また、  
 同く  水準については「」とみる企業が4.9%、「」が86.9%、「」  
 が8.2%である。

卸・小売業の  については、「増加」とみる企業が12.2%、「減少」が31.7%である  
 ことから、DIは△19.5となっている。また、同く  の水準については「」とみ  
 る企業が15.8%、「」が76.3%、「」が7.9%である。

製品・商品在庫(前年同期比)

		（%）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	1～3月 （実績）	5.9	11.8	47.0	32.4	2.9	-17.6
	4～6月 （見通し）	0.0	13.6	68.3	13.6	4.5	-4.5
（卸・小売業）	1～3月 （実績）	4.7	12.9	50.7	28.2	3.5	-14.1
	4～6月 （見通し）	2.4	9.8	56.1	29.3	2.4	-19.5



#### (4) 収 益

#### ～ 5期連続で下向く ～

**[1～3月期の実績]** 収 向実績（前年同期比）をみると、**全業種**では「増加」と答えた企業が19.9%（前期20.4%）、「減少」が53.6%（同53.0%）であり、D Iは△33.7（同△32.6）となり5期連続で下向いている。

業種別にD Iをみると、**製造業**△17.2（前期△25.6）、**建設業**△28.5（同△26.0）、**卸・小売業**△49.0（同△41.3）となり、製造業だけが上向き、建設業と卸・小売業が各々2.5、7.7ポイント下向いている。

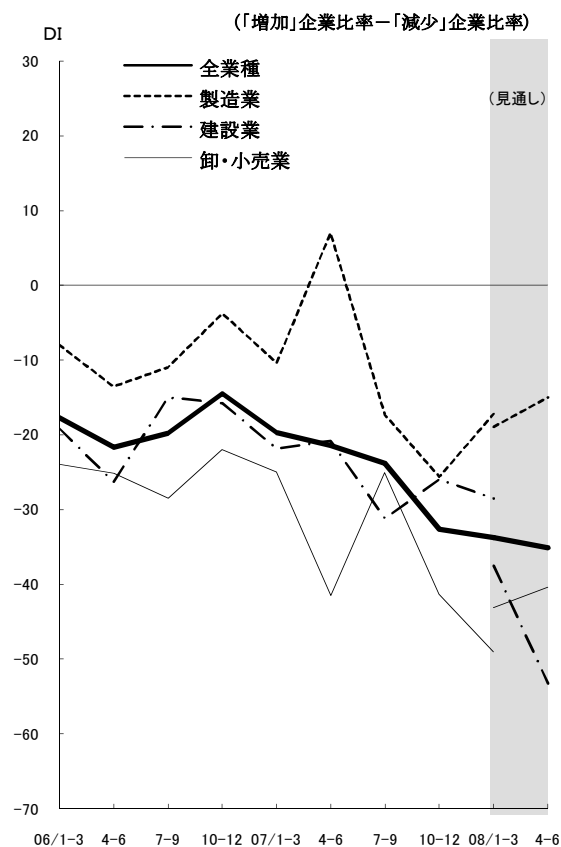
**[4～6月期の見通し]** 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、**全業種**では「増加」とみる企業が16.6%、「減少」とみる企業が51.7%であることから、D Iは△35.1で、1～3月期実績と比較して1.4ポイント下向く見通し。

業種別にD Iをみると、**製造業**は△15.0、**建設業**△53.2、**卸・小売業**△40.4で、1～3月期実績と比較して、建設業だけ きく下向く見通しとなっている。

収 益(前年同期比)

		(% )					D I
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1～3月 (実績)	3.8	16.1	26.5	34.6	19.0	-33.7
	4～6月 (見通し)	3.4	13.2	31.7	37.6	14.1	-35.1
(製造業)	1～3月 (実績)	5.7	21.4	28.6	25.7	18.6	-17.2
	4～6月 (見通し)	4.5	19.4	37.2	29.9	9.0	-15.0
(建設業)	1～3月 (実績)	6.1	14.3	30.7	26.5	22.4	-28.5
	4～6月 (見通し)	2.0	6.1	30.6	32.7	28.6	-53.2
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	1.1	13.0	22.8	45.7	17.4	-49.0
	4～6月 (見通し)	3.4	12.4	28.0	46.1	10.1	-40.4

収益動向(前年同期比)



(5) 販売価格・仕入価格

～ 販売価格、仕入価格とも上向く ～

**[1～3月期の実績]** 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が31.4%（前期24.4%）、「下」が19.4%（同21.7%）であることから、DIは12.0（同2.7）と上向きとなっている。

仕入価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が61.2%（前期48.6%）「下」が6.3%（同7.4%）であることから、DIは54.9（同41.2）と前期から更に上向きプラスの高い水準でしている。

**[4～6月期の見通し]** 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が39.2%、「下」とみる企業が22.6%であることから、DIは16.6で、1～3月期実績と比較して上向く見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が62.9%、「下」とみる企業が6.9%であることからDIは56.0となり、1～3月期から更に上向く見通しとなっている。

販売価格(前年同期比)

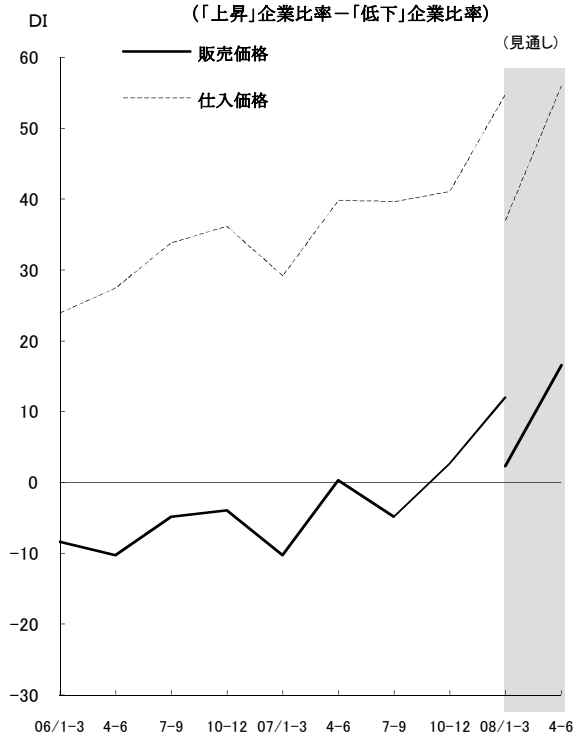
		（％）					DI
期		上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	5.3	26.1	49.2	12.6	6.8	12.0
	4～6月 (見通し)	5.9	33.3	38.2	17.2	5.4	16.6

仕入価格(前年同期比)

		（％）					DI
期		上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	14.1	47.1	32.5	4.4	1.9	54.9
	4～6月 (見通し)	18.8	44.1	30.2	6.4	0.5	56.0

価格動向(前年同期比)

(「上昇」企業比率-「低下」企業比率)



### 3. 設備投資の動向について

#### (1) 設備投資の実施状況

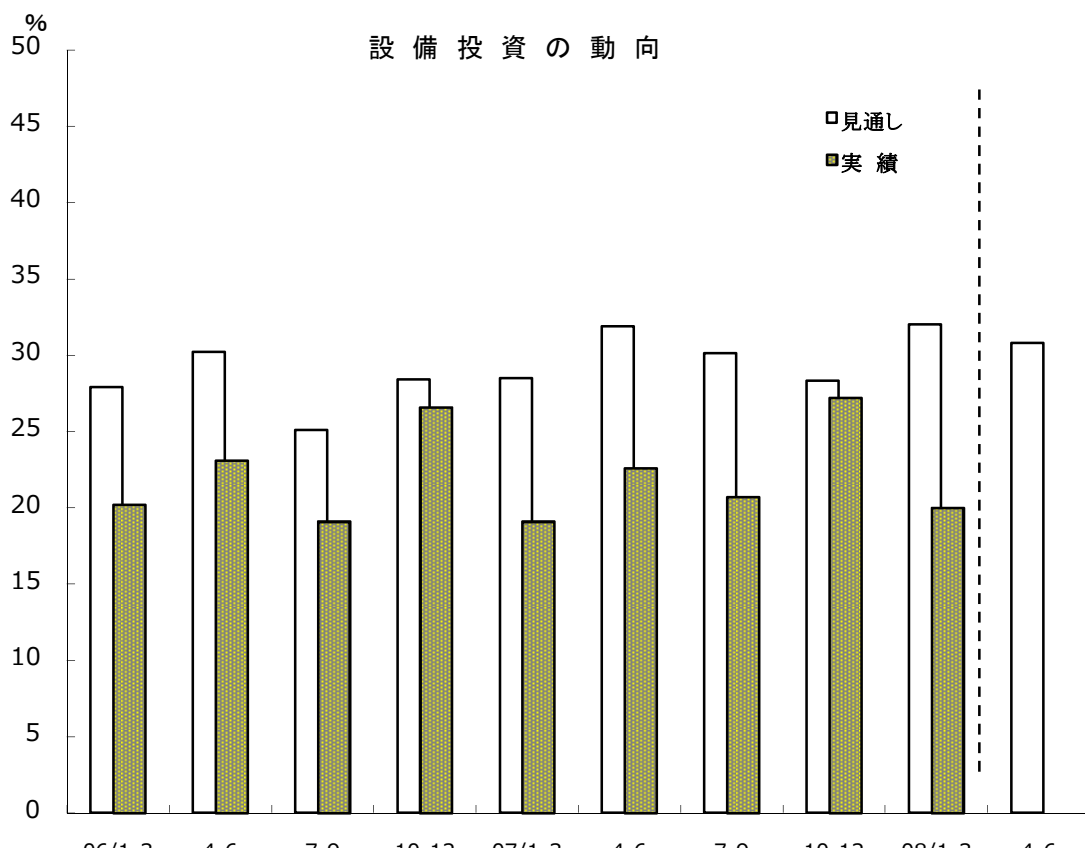
～ 下向きに転ずる ～

【1～3月期の実績】 設備投資の実施状況をみると、**全業種**では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は20.0%（前期27.2%）で、下向きとなっている。

これを業種別にみると、**製造業**が32.8%（前期32.8%）、**建設業**10.2%（同16.3%）、**卸・小売業**15.4%（同28.4%）と、製造業以外は下向いている。

【4～6月期の見通し】 今後3ヵ月の設備投資について**全業種**では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で17.1%（前期16.7%）、「計画はあるが具体化していない」は13.7%（同15.3%）、「計画はない」は69.2%（同68.0%）であった。「計画あり」は合計30.8%（同32.0%）と前期予想とほぼ横ばいの見通しとなっている。

業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、**製造業**で46.3%（前期43.1%）、**建設業**で16.3%（同18.0%）、**卸・小売業**で27.0%（同31.2%）と、製造業だけが上向いている。



## (2) 設備投資の目的

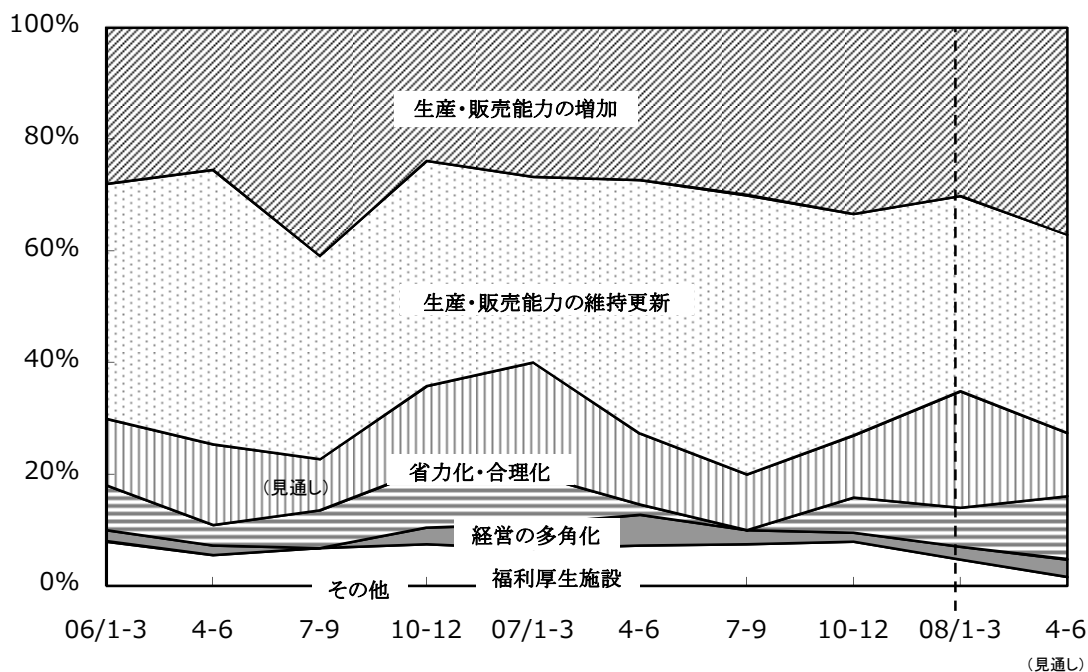
【1～3期の実績】 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(20.0%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が34.9%（前期39.7%）の比率でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」が30.2%（同33.3%）で2位、「省力化・合理化」が20.9%（同11.1%）で3位となっている。

業種別にみると、**建設業と卸・小売業**で「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり、**製造業**では「生産・販売能力の増加」がトップとなっている。「省力化・合理化」が上位で続いているが、卸・小売業では「多角化」が2位となっている。

【4～6月期の見通し】 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(30.8%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の増加」が37.1%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の維持更新」35.5%、同率で「省力化・合理化」、「経営の多角化」11.3%の順となっている。

業種別では、**建設業と卸・小売業**では「生産・販売能力の増加」がトップとなっており、**卸・小売業**では「生産能力の維持更新」がトップとなっている。卸・小売業では「多角化」、「省力化・合理化」も高い比率となっている。

### 設備投資の目的



## 4. 資金繰り状況について

### (1) 資金繰り状況

～ 製造業で上向くも、全体では下向く ～

**[1～3月期の実績]** 資金繰り状況（前期比）は、**全業種**では、「楽になった」とする企業が10.0%（前期13.8%）、「苦しくなった」が33.5%（同30.7%）であることから、D Iは△23.5（同△16.9）と下向いている。

業種別にD Iをみると、**製造業**が△10.0（前期△13.6）、**建設業**が△27.7（同△10.4）、**卸・小売業**が△31.5（同△22.9）で、製造業が上向きとなっているが、建設業と卸・小売業が各々17.3、8.6ポイント下向きとなっている。

**[4～6月期の見通し]** 4～6月期の見通し（当期比）をみると、**全業種**では「楽になる」とみる企業が10.8%、「苦しくなる」が33.7%で、D Iは△22.9となり、1～3月期実績（△23.5）と比較して、横ばいの見通しとなっている。

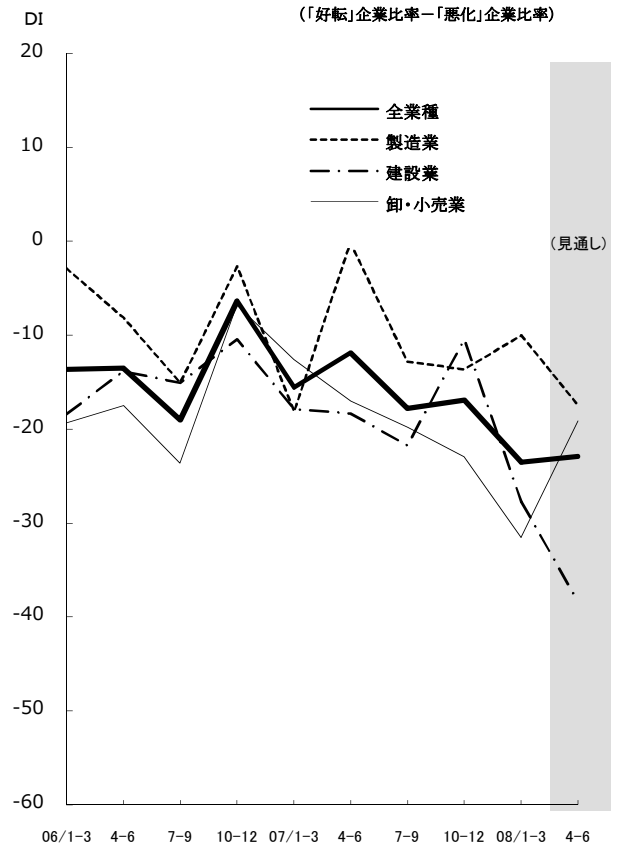
業種別にD Iをみると、**製造業**△17.4、**建設業**△38.3、**卸・小売業**△19.1となっており、1～3月期実績と比較して、卸・小売業だけ上向く予想となっている。

資金繰り(前期比)

		（％）					D I
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	1～3月 (実績)	1.9	8.1	56.5	23.9	9.6	-23.5
	4～6月 (見通し)	1.5	9.3	55.5	24.9	8.8	-22.9
（製造業）	1～3月 (実績)	4.3	10.0	61.4	15.7	8.6	-10.0
	4～6月 (見通し)	4.3	7.2	59.6	21.7	7.2	-17.4
（建設業）	1～3月 (実績)	0.0	10.6	51.1	25.5	12.8	-27.7
	4～6月 (見通し)	0.0	8.5	44.7	29.8	17.0	-38.3
（卸・小売業）	1～3月 (実績)	1.1	5.4	55.5	29.3	8.7	-31.5
	4～6月 (見通し)	0.0	11.2	58.5	24.7	5.6	-19.1

資金繰り動向(前期比)

(「好転」企業比率-「悪化」企業比率)



## (2) 現金・預金

**[1～3月期の実績]** 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が10.9%（前期15.0%）、「減少した」が43.6%（同35.6%）であることから、DIは△32.7（同△20.6）と下向きとなった。

**[4～6月期の見通し]** 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が12.2%、「減少する」が38.6%であることから、DIは△26.4（当期△32.7）と上向き予想となっている。

## (3) 金融機関借入

**[1～3月期の実績]** 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が23.7%（前期21.5%）、「減少した」が27.6%（同26.6%）であることから、DIは△3.9%（同△5.1%）と上向きとなった。

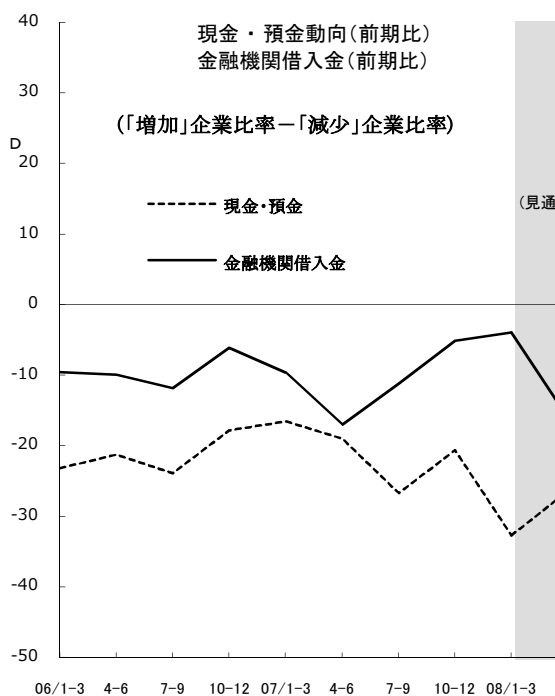
**[4～6月期の見通し]** 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が12.4%、「減少する」が28.4%であることから、DIは△16.0（当期△3.9）と下向き予想となっている。

現金・預金(前期比)

		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
全業種	1～3月 (実績)	1.4	9.5	45.5	31.8	11.8	-32.7
	4～6月 (見通し)	1.0	11.2	49.2	29.3	9.3	-26.4

金融機関借入金(前期比)

		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
全業種	1～3月 (実績)	3.9	19.8	48.7	24.2	3.4	-3.9
	4～6月 (見通し)	1.0	11.4	59.2	25.4	3.0	-16.0



#### (4) 販売代金回収期間

**[1～3月期の実績]** 販売代金回収期間（前期比）については、「短くなった」とする企業が2.9%（前期2.8%）、「長くなった」が17.7%（同14.2%）であることから、D Iは△14.8（同△11.4）となった。また、79.4%（同83.0%）の企業は「変わらない」としている。

**[4～6月期の見通し]** 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「短くなる」とみる企業が4.4%、「長くなる」が15.6%であることから、D Iは△11.2（当期△11.4）となる。また、80.0%の企業は「変わらない」とみている。

#### (5) 仕入代金決済期間

**[1～3月期の実績]** 仕入代金決済期間（前期比）については、「長くなった」とする企業が1.4%（前期1.8%）、「短くなった」が4.8%（同5.5%）であることから、D Iは△3.4（同△3.7）となった。また、93.8%（同92.7%）の企業は「変わらない」としている。

**[4～6月期の見通し]** 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「長くなる」とみる企業が2.0%、「短くなる」が4.0%であることから、D Iは△2.0（当期△3.7）となる。また、94.0%の企業は「変わらない」とみている。

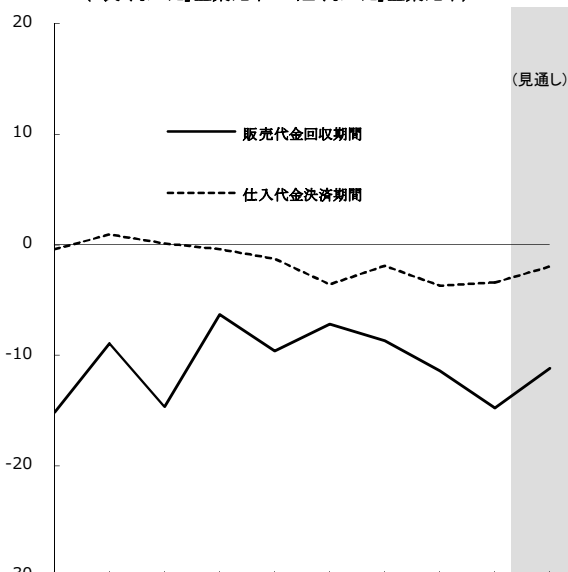
販売代金回収期間(前期比)

		（％）					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	1～3月 （実績）	0.5	2.4	79.4	15.3	2.4	-14.8
	4～6月 （見通し）	0.5	3.9	80.0	12.7	2.9	-11.2

仕入代金決済期間(前期比)

		（％）					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	1～3月 （実績）	0.0	1.4	93.8	3.4	1.4	-3.4
	4～6月 （見通し）	0.0	2.0	94.0	2.5	1.5	-2.0

販売代金回収期間動向(前期比)  
（「短くなった」企業比率－「長くなった」企業比率）  
仕入代金決済期間動向(前期比)  
（「長くなった」企業比率－「短くなった」企業比率）





## 5. 経営上の問題点について

～ 製造業では「原材料・仕入価格高」が4期連続トップ ～

1～3月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」27.9%（前期27.8%）、「原材料・仕入価格高」21.4%（同16.2%）、「収益不振」13.8%（同16.7%）、「過当競争」12.8%（同13.1%）、「販売価格安」10.8%（同9.7%）の順となり、「原材料・仕入価格高」が比率を伸ばし2位となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「原材料・仕入価格高」33.3%（前期27.5%）がトップとなり、「受注不振」19.8%（同25.2%）、「販売価格安」12.2%の順。建設業では「受注不振」30.9%（同25.5%）がトップとなり、「過当競争」21.3%、「原材料・仕入価格高」17.0%の順。卸・小売業では「売上不振」32.7%（同31.8%）「収益不振」16.7%、「原材料・仕入価格高」14.9%の順となっている。

いずれの業種とも「売上・受注不振」「収益不振」「過当競争」「販売価格安」が上位を占めているが、製造業では「原材料・仕入価格高」が4期連続でトップとなり、建設業、製造業でも比率が高く3位となっている。

